

みどりの女神が行く!

大分県での第45回全国育樹祭

大分県にて行われた第45回全国育樹祭に参加いたしました。

昭和52年に別府市で第1回「全国育樹祭」が開かれて以来、大分県では45年ぶり2回目の開催となりました。式典には、秋篠宮ご夫妻をはじめ、全国の林業関係者などおよそ4千人が出席されました。

メインテーマアトラクションでは緑豊かな森を受け継ぐ大切さを、映像や歌を交えながら紹介していきま

す。植樹祭会場に設けられたおもてなし広場では、木を活用した生活用品や、地元の新鮮な食材などが並び、多くの方々で盛り上がりっております。そこで感じた雰囲気は「楽しい」の一言に尽きる感覚でした。



ミス日本みどりの女神
なりた あすみ
成田 愛純

る人材を育成し、木を伐って使い、植えて育てる森林づくりの環を、県民総参加で広げることが目標としてあります。多くの人に森林や林業を「楽しい」と感じてもらうことで、自分から関わりたいと思ってもらえるようになり、森林の未来に繋がると感じました。



第45回森林・林業・環境機械展示実演会

全国育樹祭と併せて開催された第45回森林・林業・環境機械展示実演会にも参加してまいりました。

今回の会場はBECAMP別府志高湖及び周辺森林です。森林の中に大きな機械がたくさん展示されている光景は不思議な感じがしました。聞くところによると、展示会を実際に伐採可能な森林で行うのは珍しいそうです。



▲ 迫力ある林業機械と



▲ VRシュミレーターを体験!

来場者の中には若い方や小さなお子さんもあり、大きな機械を見て皆さんとても楽しんでいらっしゃる様子でした。私は「緑の雇用」のポスター撮影で着用したチェンソーウェアを着用していたのですが、女性がこのウェアを着ているのは珍しいためか、多くの方にお声掛けしていただき、その着心地などを尋ねられました。

そんな皆様の前で、今回もいくつかの機械の操縦をさせていただきました！特に印象に残ったのは、フォワードの遠隔操作です。離れた場所からラジコンのように操作できるようになっており、女性でも簡単に操

作できるのはもちろん、センサーで機械の周囲5m以内に人が居ると自動停止するなど安全性にも大変配慮されています。

また、機械操縦のVR体験シュミレーターにも感動しました！アームを操作し木をつかんで伐採し、枝を落として丸太にするまでの一貫した複雑な操作を、実機に近い形で疑似体験することができず。この体験を通して具体的なイメージを共有し、新規就労者の経験不足を補うという現代ならではの思考がとても面白いなと思いました。林業に関わる機械がどんどん進化して新しいものが生まれるのが楽しみです。